

常任委員会

総務

佐賀市長等の給料月額の特例に関する条例について

〔質問〕教育長、常勤の監査委員については

委員については、今回他の特別職同様減額されるが、四年前に減額されなかたのはなぜか。

〔答弁〕教育長については、遠方から単身赴任され、ま

文教福祉

一般会計補正予算中、小中一貫・連携教育推進事業（繰越明許費）について

〔質問〕来年度から思斎小・中学校で、初の校舎隣接型

の小中一貫教育が実施されるが、既に実施されている北山校及び芙蓉校での小中一貫教育の成果は。

〔答弁〕両校とも小中一貫

〔質問〕大きな目的は小中

育児・介護のための早出遅

出勤務ができる制度であるが、業務量が多い状況の中で公務の正常な運営を妨げないように運用できるのか。

〔質問〕今回の改正内容は、次世代育成支援対策推進法に基づいて全国的に実施可能である。早出遅出勤務については、出でこな

味合いで減額しなかつた。佐賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例について

〔質問〕育児短時間勤務や制度については実施可能であると考えている。短時間勤務については、出でこな

た現職の校長を辞められるということもあり現給保障という意味合いで減額しなかつた。常勤の監査委員についても、当時現職であつたため、現給保障という意味合いで減額しなかつた。

〔答弁〕今回の改正内容は、次世代育成支援対策推進法に基づいて全国的に実施可能である。早出遅出勤務については、出でこな

い日、出でこない時間をどうフォローするかという部分が大きく残るので、任期付きの短時間の職員を採用したり、仕事の配分を課内で考えていく必要がある。

〔答弁〕特に本庁舎の老朽化が進んでおり、緊急をやつていかざるを得ない。

〔答弁〕非常に難しい部分もあるが、やつていかざるを得ない。する箇所を今回の補正予算に上げている。今後、本庁舎の耐震改修も予定しており、老朽化部分の改修もできるだけ併せて効率的に行いたい。また、支所の改修

等を行うことだが、本庁舎、支所の庁舎とも老朽化が進む中、改修等の優先順位はどう決めているのか。

〔答弁〕非常に長期的な計画は持つ

ていい。

〔審査結果〕すべての議案

について、原案を可決すべ

きものと決定。

〔審査結果〕すべての議案

